

こんにちは!

No.185
令和6年8月1日

しばた議会です

大きく育ってネ!

令和6年7月3日

船岡小学校創立150周年記念祭実行委員会

特集

★総合体育館条例が可決

★議会だよりができるまで



「議会ネット中継」は
こちらから

～ 総合体育館条例可決 ～

れる総合体育館に

現在、船岡字上大原地区で着々と建設が進む総合体育館。いよいよ今年12月にオープンします。6月会議では、総合体育館の設置や管理に関して必要な事項を定める総合体育館条例を全会一致で可決しました。

かつて、本町には船岡公民館の隣に、町民体育館がありました。しかし、平成23年3月に発生した東日本大震災で被災し、取り壊しを余儀なくされました。

その後、新たな総合体育館建設に向け、平成24年に工場跡地を取得。令和4年にようやく着工し、今年12月に待望の総合体育館がオープンします。

今回可決した条例では、施設の管理は施設管理者を指定して行うことや、指定管理者が行う業務、利用時間、利用料金の上限額などが定められています。

トレーニングルームや多目的スペースも完備しているということで、屋内競技だけでなく、幅広く活用していきたいです。

そして、新たなコミュニティの場として地域の方に愛される「町のシンボル」になることを期待しています。

新しい体育館でバドミントンを練習して強くなりたいです。また、交流試合や大きな大会が開催されると嬉しいです。

総合体育館は様々な方が様々なスポーツに関われる場所であってほしいと思っています。

私たちは総合体育館の
ここに期待します！
町民の皆さんの声

船岡上大原
すずき きよと
鈴木 清人 さん



槻木西
かとう あやめ
加藤 彩萌 さん



西船迫
ふじわら さちこ
藤原 幸子 さん



船岡中央
いがらし ごう
五十嵐 郷 さん

待ちに待った念願の総合体育館。たくさんのスポーツ団体や町民の方が利用できる素晴らしい場所になると思います。チーム主催の大会やバレーボール体験会などにも利用したいです。他地域の方々が柴田町にたくさん足を運び、スポーツを通じた子どもたちの健全育成に力を注げる場所になってほしいです。

町内にある大学の学生として、子どもから高齢者まで多世代の町民の競技力向上や、健康づくりのお手伝いできればと考えています。個人的には、ジムがあること、アリーナの個人利用ができることは嬉しいです。



オープンまであと4か月

町民みんなに愛さ



各種スポーツ団体、個人利用における主な料金

団体利用（予定額）

利用時間帯	高校生以下	一般
9:00~12:00	660円	990円
12:00~15:00	550円	830円
15:00~18:00	690円	1,040円
18:00~21:00	860円	1,290円

※アリーナ半面1時間あたりの料金

個人利用（予定額）

アリーナ	210円/回
トレーニング室	300円/回

注：利用料金については今後、変更される場合があります。
供用開始時にご確認ください。

柴田町総合体育館の概要

アリーナ面積	1552.49㎡
観客席数	300席
多目的室	2室
トレーニング室	1室
その他施設等	キッズスペース、原っぱ広場、 スポーツ広場、防災広場 など
利用可能時間	9:00~21:00

※6:00~9:00、21:00~23:00までの利用を認める場合もある



令和7年3月完成！

(仮称) 船岡児童館を整備

船岡放課後児童クラブも併設 (待機児童解消へ)

6 月 会 議
一般会計補正予算
3億147万円増額

6月会議は6月10日から6月14日までの日程で開催されました。一般会計補正予算など11議案が提出され、審議の結果すべて原案のとおり可決しました。また、専決処分など、11件の報告を受けました。一般質問は10人の議員が行いました。

議案第9号

旧第一幼稚園を改修

質疑 船岡児童館整備事業費1億813万円が計上されている。工事費が高額になった理由は。

答弁 当初予定した工事に加え、排煙設備、小屋裏空間を隔てる壁、間仕切り、スロープを設置するため。

質疑 既存の建物には、排煙設備はなかったのか。

答弁 既存の建物にはなかった。

質疑 窓を付けたほうが安く済むのではないか。

答弁 これから工事内容を精査していく。



一般会計補正予算の主な事業と予算額

事業名	予算額
コミュニティ助成事業補助 (3区・11B区)	400万円
戸籍住民基本台帳事務事業	440万円
老人保護措置事業	86万円
船岡小学校創立150周年記念事業	15万円
さくら育成管理事業(桜樹保護事業)	210万円

724万円



ポンプ車両イメージ

議案第7号
今年度も1台更新

質疑 小型消防ポンプ付軽積載車1台を購入するが、現存車両や積載品の処分方法は。

答弁 現存車両は納入業者で処分。積載品については使えるものは、消防団詰所に保管してもらう。

議案第1号

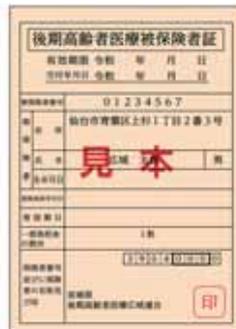
後期高齢者もマイナ保険証へ移行

令和6年12月2日以降は、紙の医療被保険者証が発行できなくなることから、宮城県後期高齢者医療広域連合規約を変更するものです。

医療機関での影響は

質疑 マイナ保険証に切り替わった時に、町内医療機関では、どのような混乱が起きると想定されているのか。

答弁 使い慣れていない方が操作方法に戸惑い、受付が混雑することが予想される。



私はこう考える

反対
紙の保険証は残すべき
広沢 真議員

マイナ保険証は、導入時から患者側、医療機関側ともトラブル続き。12月2日からの切り替えて、より多くのトラブルが予想される。必要な医療が受けられないことがないよう紙の保険証は廃止すべきではない。

賛成
円滑な保険診療のため
安藤 義憲議員

マイナンバーカードによるオンライン資格確認ができない被保険者に対し、受診控えが起きないようにするため資格確認証を交付し、全ての被保険者の円滑な保険診療を確保するため規約の一部を変更するものである。

議案の審議結果及び概要

● 審議結果

区分	議案番号	月日	出席者数 入	賛成 入	反対 入	議決結果	石森 靖明	伊東 潤	吉田 清	小田 部峰之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久 間光洋	平岡 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々 木裕子	広沢 真	白内 恵美子	平岡 奈緒美	高橋 たい子	
6月会議	議案第1号	6.14	18	15	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第2～11号	6.14	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。

※「議」は表決時に議長のため、また「-」は欠席などのため表決に参加していないことを表す。

本会議・委員会の出欠状況はこちらで確認してください→



● 6月会議で審議した議案の概要

議案第1号

宮城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

12月2日以降、マイナンバーカードと医療被保険者証の一体化に伴い、宮城県後期高齢者医療広域連合の規約変更が必要になったもの

議案第2号

総合体育館条例

12月開館の総合体育館の設置や管理方法について定めるもの

※地方自治法の規定により、地方自治体の設ける公の施設の設置や管理方法については原則、条例で定めなければならない

議案第3号

情報公開条例の一部改正

誰でも情報公開の請求をできるようにするもの

議案第4号

情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部改正

フロッピーディスクやUSBメモリなどの記憶媒体を提出することが定められている町の申請についても、オンラインによる申請をできるようにするもの

議案第5号

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営について参考にする国の基準が改正されたことに伴い、町の基準を改正するもの

議案第6号

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の小規模保育事業所等における保育士及び保育従事者の配置基準改正に準じ、町の基準を改正するもの

議案第7号

財産の取得について
(小型消防ポンプ付軽積載車)

消防団で使用する消防ポンプ車を購入するもの

※議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、購入するためには議会の議決が必要になる

議案第8号

和解について

「むつみ学園」の運営委託にかかる消費税を多く支払ったことに関して、受託者と和解するため、議会の議決を求めるもの

※町が相手と和解するためには、地方自治法の規定により、原則議会の議決が必要になる

議案第9号

令和6年度一般会計補正予算

旧第一幼稚園を児童館に改修する工事費や高齢者を対象とした定期予防接種の委託料などに係る経費及び財源を補正するもの

議案第10号

令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算

12月2日以降、マイナンバーカードと健康保険証が一体化され、今の国民健康保険証が使えなくなることから、周知用のチラシ作成代と管理システムの改修費用を補正するもの

議案第11号

令和6年度水道事業会計補正予算

人工衛星を活用した漏水調査事業の財源として、国のデジタル田園都市国家構想交付金を見込むもの

※紙面の都合により、議案名を一部省略して記載しています。

10人の議員が
一般質問

我が町政を問う!

議員18人のうち10人が質問を通し、町に対し提案などを行いました

小田部峰之 議員

P7

フリー Wi-Fi 環境の整備を

加藤 滋 議員

P9

危険な交差点への信号機設置は

- 伝統芸能である神楽の存続を

大坂 三男 議員

P8

図書館を核とした賑わいづくりは

- しばたの郷土館再整備事業を問う
- みんなの広場の整備について

白内恵美子 議員

P9

貴重な郷土資料は町が保存を

- 前田樋管までの排水路の拡幅を
- 紫波町に学び充実した図書館を

吉田 和夫 議員

P8

医療的ケア児・者の移動に助成を

- クーリングシェルターの開設は

秋本 好則 議員

P10

柴田町にシェアサイクルの導入を

- 柴田町の動植物調査が必要では

平間奈緒美 議員

P8

公共施設個別施設計画の進捗は

- 船岡小学校の玄関前通路の整備は

桜場 政行 議員

P10

重層的支援体制整備実施の課題は

- 地域包括ケアシステムの進捗状況

吉田 清 議員

P9

携帯トイレの備蓄の現状と対応は

- 福祉施設に携帯トイレ備蓄支援を
- トイレトレーラーの導入検討を

石森 靖明 議員

P10

放課後児童対策パッケージ活用を

- みやぎ蔵王花回廊の事業進捗は

Q フリー Wi-Fi 環境の整備を

A 新設・改修施設には設置予定

小田部峰之 議員



太陽の村の Wi-Fi

問 町公共施設へのフリー Wi-Fi を整備できないか。

答 生涯学習施設への整備については、利便性と費用対効果の両面から、今後も調査研究を継続する。また、12月にオープン予定の総合体育館のエンタランスホール、新図書館及びしばたの郷土館再整備で、フリー Wi-Fi 環境を整備予定。

問 企業との連携による DX 推進は検討しているか。

答 分野ごとに専門性のある企業から提案を受け、必要性を判断しながら DX 推進を図っていく予定。

問 デジタルサイネージ（電子看板）と組み合わせ、きめ細かな情報発信、案内などへの活用は。

答 船岡駅コミュニティプラザの改修に併せて、先進地の事例を参考に、デジタルサイネージを設置する予定。



大坂 三男
議員



Q 図書館を核とした賑わいづくりは

A 新図書館建設の具体策は検討中



賑わいの創出を

問 基本構想説明会やワークショップで参加者からどんな要望や意見が出され、町はそれをどう受け止め、どう対応したのか。

答 現在の図書館よりも、より広い面積と、より多い蔵書数を望む意見が出された。町としては、延床面積は1千500㎡、蔵書数は10万冊を目指した基本計画案を策定したい。

問 ワークショップと新図書館検討委員会の役割分担は。

答 ワークショップは基本計画策定時の基となるアイデアや発想などを、自由に出す場であり、検討委員会は学識経験者や図書館の職員などで構成し、各委員の専門性を生かして意見を出してもらう。

問 図書館内にゆとりを確保できるよう、延床面積を1千500㎡を超えて確保できないか。

答 財政状況を考慮し検討する。



吉田 和夫
議員



Q 医療的ケア児・者の移動に助成を

A 支援の在り方を検討する



痰吸引をするケア児

問 往復の自家用車移動だけでも大変な出費になる。安心して住み続けられるようガソリン代などの助成ができるか。

答 宮城県医療的ケア児等相談支援センターや、関係機関からの助言をもらいながら、適切な支援の在り方を検討していく。

問 災害時に、医療的ケア児・者の避難所の受け入れ体制は可能か。

答 状況によっては可能だが、受け入れ体制など総合的判断が必要。

問 医療的ケア児・者の一時預かり施設を確保すべきでは。

答 県との会議の場で、仙南地域において、一時預かりができる施設の確保を要望していく。

Q 公共施設個別施設計画の進捗は

A おおむね順調に推移している

平間奈緒美
議員



問 公共施設個別施設計画の進捗状況は。

答 令和2年度から10年間の計画としている。対象施設は、122施設のうち劣化状況調査の結果がC判定以上だった10施設と、長寿命化などで改修・修繕が必要な8施設、機能廃止の2施設について、整備概要をまとめていく。すでに6件の案件が完了しており、計画はおおむね順調に推移している。

問 課題解決への取り組みは。

答 廃止が決定している槻木体育館は、跡地を新しい保育所として活用することを、今後、地域住民に説明していく。

問 船岡体育館は長寿命化していくのか。

答 スポーツ団体や住民の意見を聞いた上で進めていく。今後のスポーツ振興策の一つとして考えていく必要がある。



利用者の多い船岡体育館

Q 携帯トイレの備蓄の現状と対応は

吉田

清
議員



A 計画的に備蓄、補充を進めていく



災害に備えて

問 能登半島地震で被災した石川県では、携帯トイレが全く足りず、政府により100万回分の携帯トイレが供給された。災害時の携帯トイレの数を本町ではどう推計しているのか。

答 一概に算出することは困難だが、1人当たり1日の排泄回数5回を目安にしている。

問 実際の備蓄数は。

答 携帯トイレ、簡易トイレ合わせて7千200回分である。

問 7千200回分を5回で割ると、1千440人分しかない。全く足りないと言わざるを得ない。万が一、足りなくなった場合の対策は。

答 避難所9か所の状況に応じて柔軟に運用していく。

問 町民にも、万が一に備え、携帯トイレの備蓄や使用方法などを周知しては。

答 準備の重要性を周知する。

加藤

滋
議員

Q 危険な交差点への信号機設置は

A 町道側に一時停止標識設置で調整



事故多し ここは気をつけて

問 町道富沢16号線の開通に合わせ、県道との交差点に信号機の設置が望ましいと思うが。

答 令和5年9月に大河原警察署と協議。信号機や横断歩道設置の必要性はないと判断された。

問 この交差点付近での交通事故は、3月1件、4月1件、5月は15日現在1件発生している。事故状況を把握しているか。

答 把握している情報が、いずれも人身事故ではなく物損事故だった。

問 現在、信号機設置が難しいと聞いているが、その理由は。

答 大河原警察署と協議した結果、設置の必要条件是満たしているが見込まれるが、択一条件である1年間に発生した人身事故の件数、幼児や高齢者の通行の有無などが該当しないため。現在、町道側への一時停止標識及び路面に止まれるの標示を設置することで調整している。

Q 貴重な郷土資料は町が保存を

白内恵美子
議員



A 重要な資料は後世へ継承していく



未来に残したい貴重な資料群

問 郷土史家が収集された貴重な郷土資料について、ご遺族から寄付の申し入れはないか。

答 しばたの郷土館元館長、日下龍生氏が収集された約3千600冊の寄贈の申し出がある。

問 柴田町史の編さんに関わり収集した専門書や古文書、歴史研究の基礎資料など、町で所蔵していない書籍も多く、貴重な書籍群と考えている。保管場所などの調整及び活用方法については、検討を進めている。

問 住民が所蔵する郷土資料を、町が譲り受けるべきでは。

答 重要な資料は町指定文化財の可能性がある物を優先して受け入れ、様々な学習機会を活用し、後世へ継承していく。

問 郷土資料の公開や保存には十分な広さの場所が必要では。

答 思源閣の収蔵スペースは十分ではない。未利用施設の転用など、場所の確保を検討する。



秋本 好則 議員



Q 本町にシェアサイクルの導入を

A 時期尚早で難しい



福島のももりんシェアサイクル (福島市HPより)

※ MaaS = 目的地までのルートや、移動手段の検索、予約、決済などを一括して行えるサービスのこと。

問 シェアサイクルに電動アシスト自転車を使えば、太陽の村やJAXAへの足になり新しい観光資源になると思うが。

答 太陽の村やJAXAへの足としては想定できない。

問 役場や体育館、大型スーパリーなどにサイクルポートを設置すれば利便性が増すと思うが。

答 自宅からサイクルポートに行くことは現実的でない。体育館への足には想定してなかった。

問 東船岡駅から見える範囲に二つの大型店がある。ポートを作れば新規需要が出るのでは。

答 自転車利用の買い物がどれだけのいるか分からない。

問 自転車の利用で、海外ではがんや心臓疾患の死亡率が半減しているデータもある。健康ポイントと組み合わせたMaaSができないか。

答 地域の特性と効果やコストも考えないといけない。



桜場 政行 議員



Q 重層的支援体制整備実施の課題は

A 合意形成を取ること



充実した支援体制へ

問 既存の支援制度の対象者となりにくい、対象者を把握しているか。

答 重層的支援体制整備事業は、高齢・障がい・子ども・生活困窮などといった分野や世代の支援体制では対応しきれない、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、属性や世代を問わない、包括的な支援体制の構築を目的とする事業である。現行制度では行き届かない支援の狭間にいる個人や世帯では、地域とのつながりが希薄になる傾向にあることから実数の把握まで至っていない。

問 重層的支援体制整備の実施についての課題は。

答 個別支援において、連携・協働していくためにどのような組織づくりが必要なのか、関係機関や地域との間で、この取り組みの合意形成を取ることなどが課題。

Q 放課後児童対策パッケージ活用を

A 船岡児童館整備事業に活用する

石森 靖明 議員



安心できる子育て環境を

国は令和5年12月、放課後児童対策を総合的に盛り込んだ「放課後児童対策パッケージ」を自治体に通知した。

問 通知を受けた町の対応は。

答 (仮称) 船岡児童館の整備に交付金を活用することにした。

問 放課後児童クラブの不承諾者がいることへの町の見解は。

答 申し訳ないと考えている。

問 利用ニーズ調査は毎年行えば待機児童は解消できるのでは。

答 これまで、毎年の調査はしていないが今後検討したい。

問 パッケージに放課後児童クラブ職員の処遇改善もある。処遇改善で人員確保につなげては。

答 均衡性の観点から難しい。

問 子どもたちの居場所となる放課子ども教室に、しばたっ子応援団を活用するなど、学校以外で学べる環境の整備を。

答 国でもそのような動きがある。今後検討していきたい。

ちょっと
一息



そもそもな疑問??

特別編

テーマ 政務活動費

使っちゃダメ!

- 交際に要する経費 (香典、お歳暮など)
- 政党活動に要する経費
- 選挙活動に要する経費
- 後援会活動に要する経費
- 飲食に要する経費 (例外有り)
- その他、私的活動等に要する経費 など



○平成24年9月に地方自治法の一部改正。交付目的に「その他の活動」を追加。名称も「政務調査費」から「政務活動費」に改められる。

○平成12年5月に地方自治法の一部改正。議会の会派又は議員に対する調査研究費等の助成制度となる「政務調査費」交付制度が法制化。

○議会の果たす役割も重要となり、議会の活性化、審議能力を強化するためには、議員の調査活動基盤の充実が必要になる。

○国・県から、市町村への事務・権限の移譲や、地方公共団体への義務付け・枠付けを緩和しました。
(地方分権一括法)

政務活動費の成り立ち

柴田町議会では、政務活動費の交付に関する条例により、議員一人あたり月額**1万円**が報酬とは別に交付されています。このお金は、議員が町政や議会活動の活性化などに対する調査研究（先進地への視察や研修会への参加）、町民との意見交換、広報活動（議員報告、会派報告など広報紙）に使っています。

月額が 4,000円 → 10,000円に

本町議会では、議員報酬や費用弁償の在り方を調査研究の目的とし、さらに、報酬以外の項目なども必要と認められる項目について研究対象とした「柴田町議会議員報酬等研究会」を平成30年11月に設置しました。研究項目には、報酬や費用弁償の他に「政務活動費に関すること」が含まれていました。

政務活動費は、これまで月額4,000円でしたが、「実活動に見合っていない」、「不足分は議員個人が負担している」などの意見があり、研究会設置当初から月額10,000円にとの意見も多数ありました。

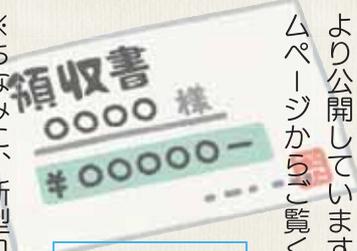
その後、研究と議論を重ね、令和3年2月会議において、政務活動費の交付に関する条例の一部改正を行い、令和3年4月から月額10,000円に引き上げられました。



それぞれの研究項目に則した、先進自治体への行政視察を実施するなど、精力的に活動をしています。また活動報告書を作成し、町民に広くお知らせしました。

令和5年度の活動は

※ちなみに、新型コロナ感染症拡大の影響で、令和2年度は全額町に返納しています。



柴田町議会
政務活動費へ



各会派と、会派に属さない議員の収支報告書と領収書は、平成31年（令和元年）度より公開していますので、柴田町議会ホームページからご覧ください。

1円単位の報告が必要です
もちろん余った分は町に返納します



常任委員会レポート 各委員会で、町の現状について現地視察及び担当課から調査した内容を報告いたします。

よりよい町を目指して

総務

調査日 令和6年5月9日、10日

■活動状況

- ①今年度重点事業について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について
- ③柴田町サービスセンターの現況について（現地調査）

■委員会の結果

〈総務課〉

○災害が頻発する中、非常時の備蓄品の重要度が増している。町内優先避難所への配備の際には、保管場所の被災や運搬時のリスクなどを考慮して、場所や数量などを決めていただきたい。

〈財政課〉

○課の重点事業として挙げられているとおり、大型プロジェクトの推進及び施設完成後の運営・維持管理費の増加を見据え、堅実な予算編成・執行に心がけること。

■調査内容

年度当初の所管調査のため担当する課の事務調査を実施

所管課：総務課、まちづくり政策課、財政課、税務課、町民環境課、会計課



充実した備蓄品

文教厚生

調査日 令和6年5月13日、14日

■活動状況

- ①今年度の重点事業について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

■委員会の結果

〈生涯学習課〉

○生涯学習施設については、住民の利用しやすい環境を計画的に整えられたい。

■調査内容

年度当初の所管調査のため担当する課の事務調査を実施

所管課：教育総務課、スポーツ振興課、子ども家庭課、健康推進課、生涯学習課、福祉課



ホールの床が修繕されました

産業建設

調査日 令和6年5月15日、16日

■活動状況

- ①今年度重点事業について
- ②各課における事務事業の内容及び執行状況について

■委員会の結果

〈農政課〉

○太陽の村の木育遊びの部屋は、子どもの遊び場として新たな需要もあることから、太陽の村の一つの目玉として、間伐材を加工した玩具づくりなどの体験を取り入れられたい。

〈商工観光課〉

○企業誘致については、候補地の情報提供に努めること。
○ガーデンツーリズム推進事業については、柴田町が主導して推進してきたことから、広域観光連携の具体的なイメージを明示して進めること。
○船岡駅コミュニティプラザについては、観光シーズンだけではなく年間を通じた交流の計画を立てて改修を行うこと。

○請願改札口の無人化にあたっては、有事の際の対応を検討し進められたい。

〈都市建設課〉

○都市構造再編集中支援事業を進めるにあたっては、ワークショップの意見を反映した実施設計になるよう、主管課と連携されたい。

■調査内容

年度当初の所管調査のため担当する課の事務調査を実施

所管課：農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課、農業委員会



新たな交流拠点として（船岡駅）

産業建設委員会 “2024桜まつりアンケート調査”実施

常任委員会レポート+ふらす

① 2024年4月5日(金)咲き始め ② 2024年4月13日(土)満開 回答数 140件(① 75件、② 65件)

目的

桜まつりに委員自ら参加し、直接来訪者に話を聞くことで来訪者のニーズを確認し、今後の委員会や議員の活動に生かす。



多くの気づきがありました。

調査方法

- 3班(2人1組)による対面調査
アンケート用紙及びアンケートフォーム
- 船岡城址公園、船岡城址公園山頂、千桜橋、白石川堤(船岡~大河原)、その他

調査結果からの気づきは・・・

再発見

- 桜の魅力
老木の良さ、蔵王と桜
- 桜の育成・維持が大切
大河原町と共通した保全計画が必要
- 観光施設の充実も
ベンチが必要、桜の種類を表示、階段に手すり、ベビー休憩室の表示

ようこそ！ 柴田町議会へ



7月4日 ● 福島県筑紫野市議会
広報委員会
議会だよりの編集について

7月4日 ● 岩手県遠野市議会
広聴広報常任委員会
主権者教育について



7月8日 ● 群馬県安中市議会
議会運営委員会
議員討議(ワールドカフェ)について

7月9日
● 京都府精華町議会
広報広聴常任委員会
議会だよりの
編集について



柴田町議会から発信

7月11~12日 常任委員長 研修会
仙南・巨理町村議会 議長会(9町)主催常任委員長研修会が開催されました。今回は柴田町議会が講師を努めワールドカフェ方式による議員間討議を実践してもらいました。



議会ってなあに？

6月6日 柴田小学校で 出前授業
高橋たい子議長が、6年生を対象に、議会や議員、町長の仕事などを、分かりやすく丁寧にお話して頂きました。

こんにちは!

特集

しばた議会です ができるまで



1 議会だより構成案の作成

定例会議の1週間前に、執行部から上程される議案が提出されます。それをもとに議会だよりの構成案とラフレイアウトを作成します。



ラフレイアウト

2 定例会議



3月、6月、9月、12月に定例会議が開かれます。定例会議では、議案審議や一般質問などが行われます。

3 企画会議

期日	内容	担当者
3月10日	議案審議(議案第1号)	執行部
3月17日	議案審議(議案第2号)	執行部
3月24日	議案審議(議案第3号)	執行部
3月31日	議案審議(議案第4号)	執行部
4月7日	議案審議(議案第5号)	執行部
4月14日	議案審議(議案第6号)	執行部
4月21日	議案審議(議案第7号)	執行部
4月28日	議案審議(議案第8号)	執行部
5月5日	議案審議(議案第9号)	執行部
5月12日	議案審議(議案第10号)	執行部
5月19日	議案審議(議案第11号)	執行部
5月26日	議案審議(議案第12号)	執行部
6月2日	議案審議(議案第13号)	執行部
6月9日	議案審議(議案第14号)	執行部
6月16日	議案審議(議案第15号)	執行部
6月23日	議案審議(議案第16号)	執行部
6月30日	議案審議(議案第17号)	執行部
7月7日	議案審議(議案第18号)	執行部
7月14日	議案審議(議案第19号)	執行部
7月21日	議案審議(議案第20号)	執行部
7月28日	議案審議(議案第21号)	執行部
8月4日	議案審議(議案第22号)	執行部
8月11日	議案審議(議案第23号)	執行部
8月18日	議案審議(議案第24号)	執行部
8月25日	議案審議(議案第25号)	執行部
9月1日	議案審議(議案第26号)	執行部
9月8日	議案審議(議案第27号)	執行部
9月15日	議案審議(議案第28号)	執行部
9月22日	議案審議(議案第29号)	執行部
9月29日	議案審議(議案第30号)	執行部
10月6日	議案審議(議案第31号)	執行部
10月13日	議案審議(議案第32号)	執行部
10月20日	議案審議(議案第33号)	執行部
10月27日	議案審議(議案第34号)	執行部
11月3日日	議案審議(議案第35号)	執行部
11月10日	議案審議(議案第36号)	執行部
11月17日	議案審議(議案第37号)	執行部
11月24日	議案審議(議案第38号)	執行部
12月1日	議案審議(議案第39号)	執行部
12月8日	議案審議(議案第40号)	執行部
12月15日	議案審議(議案第41号)	執行部
12月22日	議案審議(議案第42号)	執行部
12月29日	議案審議(議案第43号)	執行部
1月5日	議案審議(議案第44号)	執行部
1月12日	議案審議(議案第45号)	執行部
1月19日	議案審議(議案第46号)	執行部
1月26日	議案審議(議案第47号)	執行部
2月2日	議案審議(議案第48号)	執行部
2月9日	議案審議(議案第49号)	執行部
2月16日	議案審議(議案第50号)	執行部
2月23日	議案審議(議案第51号)	執行部
2月29日	議案審議(議案第52号)	執行部

日程表そして担当

定例会初日

定例会議初日終了後に、正副委員長、レイアウト担当委員、事務局で企画会議前の打ち合わせをします。

定例会期中

定例会議会期中に、広報委員全員で企画会議を行い、編集日程やページごとの担当を決めていきます。一般質問のページは、質問した議員が原稿を執筆し、その他のページは、広報委員で原稿を作成します。

「柴田町議会だより「こんにちはーしばた議会です」は、年4回(5月、8月、11月、2月)発行しています。議案審議や一般質問を中心に紙面を構成し、完成した議会だよりは各世帯にお届けしています。」

今回の特集では、議会だよりが作成されるまでの流れをお伝えします。編集にあたっては、企画、レイアウト、執筆、取材、校正までのすべてを議員が行っています。

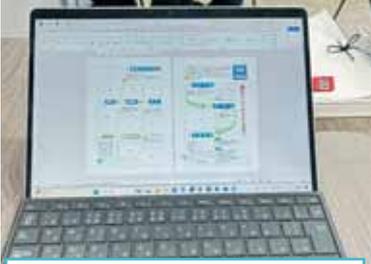
編集作業初日はとても静かです(笑)



4 編集作業&取材



定例会議閉会後に編集作業が始まります。
5日間の日程で、ページレイアウト作成、写真撮影や取材を行います。写真は、撮影後すぐに、タブレットで共有しています。



パソコンでレイアウト作成中



写真を撮りに現場へ



作戦会議中



原稿の確認中

7 完成!!



完成!

6 最終校正



印刷業者との最終確認

最終校正は、印刷会社で行います。校正時に行った修正の確認や色の確認をしています。

5 校正

レイアウトの修正や原稿などのチェックを行います。事務局にも原稿のチェックをお願いしています。



一日かけて校正

8 全戸配布

一言

議会広報常任委員会では、読みやすく分かりやすい紙面づくりを目指しています。
こちらのフォームから議会だよりの感想をお寄せください。お寄せいただいたご意見を参考にしながら、紙面の改善に努めていきます。



番外編 視察の受け入れ対応

議会広報常任委員会に対する他議会からの視察も受け入れています。他議会の編集方法などを知ることができ、大変勉強になります。



京都府精華町議会広報聴常任委員会



福岡県筑紫野市議会広報委員会

柴田町ボート協会

平成22年に、仙台大学そつてい漕艇部の活躍の応援を目的の一つとして設立された、町体育協会加盟団体です。協会設立から毎年のように、全日本大学選手権大会（インカレ）の応援に、会場がある埼玉県戸田市まで駆けつけています。私たちの応援は他大学の応援団に負けないほどで、今では会場ですっかりお馴染みの存在となっています。

協会の主な目的が「応援」という珍しい団体ですが、実家から離れて暮らす漕艇部の学生さんにとって柴田町の父母あるいは祖父母のような存在として活動しています。

わたしたちと一緒に「頑張る学生さんを応援したい!」という方がいましたら一緒に活動しませんか。

サークル紹介

町内で活動しているサークルを紹介します



会長
こだま あさお
児玉 裕雄 さん
(上名生)

漕艇部の応援と共に「会員相互の親睦と融和を図り心身の健康増進に勤め明るく活気あるまちづくりに寄与すること」も目的に楽しく活動しています。会員の熟年化が進んでいます。多くの世代の皆さんと共に感動を分かち合いたいと思います。



船岡小学校150周年式典



寿命千年と言われる
八重紅しだれ桜とともに

編集を終えて

暑中お見舞い申し上げます。

6月会議での質疑応答や、やり取りの様子、そして今回は議会広報紙編集の様子を記事にしました。編集委員の真剣ながらほほえましい姿をご覧になっていかがでしたでしょうか。

まもなくお盆ですね。先祖の霊を慰め、地域融和と一体感を図るための夏祭りには、私も積極的に参加したいと思っています。(小田部峰之)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 加藤 滋 |
| 副委員長 | 平間 幸弘 |
| 委員 | 石森 靖明 |
| 委員 | 伊東 潤 |
| 委員 | 吉田 清 |
| 委員 | 小田部峰之 |
| 委員 | 平間奈緒美 |

9月会議の予定

9月会議は **9月2日(月)** 開会予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会からの情報発信

柴田町議会の活動を発信しています。ぜひご覧ください。



このしばた議会だより185号は、約16,700部作成しています。1部当たりの経費は約59.40円です。